



連携室通信

発行：公益財団法人 老年病研究所附属病院 広報委員会 ・ ISO9001 認証取得 日本医療機能評価機構認定病院

骨粗鬆症リエゾンサービス(OLS)

整形外科 副院長 佐藤 圭司

骨粗鬆症の増加

我が国では2015年に65歳以上の総人口に占める割合が26.8%、75歳以上が13.0%になりましたが、2025年には65歳以上が30.3%、75歳以上が17.6%になると予測されており、今後さらに高齢化率および高齢者数が増加していきます。そして、それに伴い骨粗鬆症患者の増加が考えられます。しかし、骨粗鬆症の治療を受けている患者は約300万人といわれ骨粗鬆症推定患者1280万人のわずか23%にすぎません。

骨折のリスク

図1の丸が同部位の骨折です。四角が他部位の骨折のリスクを示します。どの部位でもその後に同じ部位の骨折を起こすリスクは高く、他の部位でも骨折リスクが上

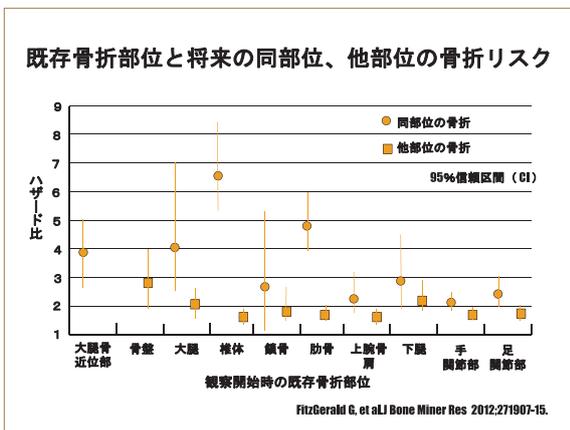


図1

がっていることがわかります。大腿骨近位部骨折では4倍、椎体骨折ではその後の椎体骨折リスクは6倍以上になります。これがドミノ骨折です。現在、骨折によって寝たきりになった方の7割が大腿骨近位部骨折の方です。閉経後女性の脆弱性骨折の既往は16%であり、大腿骨近位部骨折の50%がここから発生しています。つまり大腿骨近位部骨折の人は、二次骨折の割合が多いと言えます。しかもこの骨折は、1年以内に反対側の骨折を起こすことが多いのです。

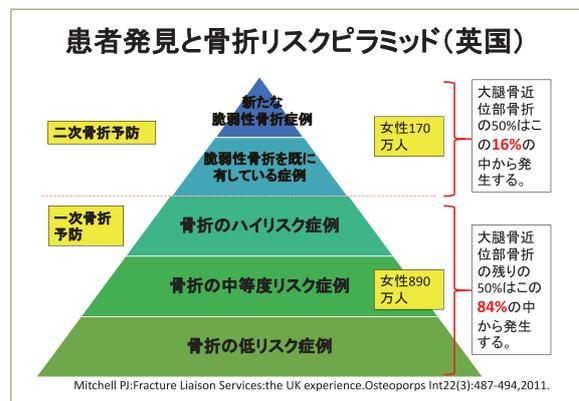


図2

治療率の低さ

我が国の治療はどうなっているのかというと、初めての大腿骨近位部骨折を起こした65歳以上の女性患者について、その後の治療状況を追跡したところ骨折前に骨粗鬆症と診断されていたのは12%、しかも骨折後に骨粗鬆症の治療が行われたのは、その内のたった19%に過ぎませんでした。治療しないために骨粗鬆症が重症化してしまい骨折が発生するのです。治療率の低さが問題になっています。

2ページにつづく

大腿骨近位部骨折後1年間の骨粗鬆症治療

-POSHIP-

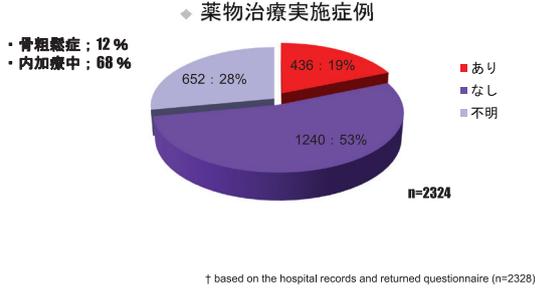


図3

骨粗鬆症リエゾンサービス (OLS) の開始

当院では、今年3人の骨粗鬆症マネージャーが誕生します。来年から本格的に骨粗鬆症リエゾンサービス (OLS) を開始する予定です。骨折リスクの高い患者や高齢者に対し、また続発性骨粗鬆症をきたす疾患や薬剤使用患者、生活習慣病患者に対し骨粗鬆症評価をしていきます。術後患者や家族への教育、運動指導、服薬指導、栄養指導を行い、そして、退院後治療スケジュール作成、患者用の骨粗鬆症手帳を配布し、転院・退院後の担当医もしくは骨粗鬆症マネージャーへの連絡・治療継続依頼を行う

骨粗鬆症リエゾンサービス(OLS)とは

骨粗鬆症リエゾンサービス(OLS:Osteoporosis Liaison Service)とは
「医師および多職種が相互に連携しながら実施する、骨粗鬆症の予防と改善および骨折防止の取り組み」

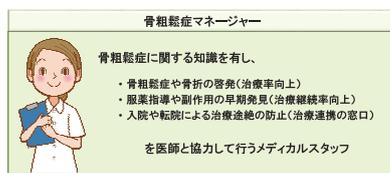


資料 注：「1.導入編 OLSとは何? OLSは、どんなことを指す? わかる!」骨粗鬆症リエゾンサービス 改訂版
骨粗鬆症マネージャー実践ガイドブック 中村 利孝 監修 2 医業ジャーナル社 24, 2016 より作成

図4

骨粗鬆症マネージャーとは

骨粗鬆症診療支援サービスの役割を担う骨粗鬆症に関する知識を有するメディカルスタッフ(コーディネーター)を骨粗鬆症マネージャーと呼称する。



資料 注：「2.知識編 2.OLSを知る 3.診療所(クリニック)での活動」わかる! できる! 骨粗鬆症リエゾンサービス 改訂版
骨粗鬆症マネージャー実践ガイドブック 中村 利孝 監修 2 医業ジャーナル社 28, 2016 より作成

図5

予定です。骨粗鬆症の患者さんは高齢であり、骨折の治療後転院や施設入所することが多く、それを機に骨粗鬆症治療が中断することがあります。したがって、一医療機関の中に限らず、周囲の医療機関や地域・社会との情報共有が重要となります。地域において1人の患者の治療経過について、骨粗鬆症マネージャーが連携をとり、この骨粗鬆症ネットワークにより治療率向上、さらに治療継続率の向上が期待できます。

骨粗鬆症マネージャーのネットワーク

地域・社会における骨粗鬆症マネージャーは病院や診療所の骨粗鬆症マネージャーと患者情報を共有することにより治療連携を図る

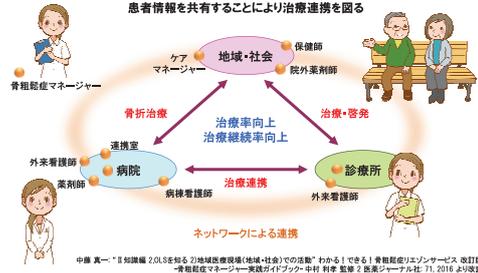


図6

医療連携の実施

内科やかかりつけ医にとって、骨密度測定器 (DXA) のない施設でも正確な骨密度検査結果を得られ、個々の症例に対して専門医による具体的なアドバイスを受けられ、正しい治療が行えるというメリットがあります。これは患者さんの治療モチベーションの向上につながり、積極的な骨粗鬆症治療が期待できます。

今後、諸先生におきましてはご指導ご鞭撻及びご協力をお願い申し上げます。



花名: イチヨウ 花言葉: 長寿
撮影者: 松原信子様

回復期リハビリテーション病棟コラム

回復期病棟でのソーシャルワーカーの関わり

当院の回復期リハビリテーション病棟は56床と58床の2病棟あり、各病棟に2名ずつのソーシャルワーカーが主に担当しております。

様々な不安・問題を一緒に考えます

回復期リハビリテーション病棟に入院されますと、患者さまには必ず担当のソーシャルワーカーがつき、入院や転棟してから1週間以内に患者さま・ご家族とお会いしています。けがや病気になると、今まで続けてきた生活の面でのご不自由や今後のご心配がいろいろ生じることと思います。今までの生活に戻れるのか、ご自宅での生活で困ること、経済的なこと、お仕事のこと、介助が必要な状態になるのではないかなど、ご不安なことをお伺いして解決のた

めにソーシャルワーカーと一緒に考えていきます。

退院支援

院内では医師、看護師やリハビリスタッフと情報共有しながら、必要に応じて利用できる制度や施設、関係機関につないでいきます。入院生活の間にはお気持ちやお考えが揺れることもあると思います。患者さま、ご家族に寄り添いながら、安心して退院後の生活を送れるように相談、支援いたします。

実践力の向上

病院全体では、8名のソーシャルワーカーがおり、毎朝のミーティングで情報共有をし、事例検討会を行い実践力の向上に努めております。

整形外科外来よりお知らせ

ヘルニコアの薬物治療を開始しました

ヘルニコアとは？

- ・2018年8月1日より販売開始となった新薬です。（一般名：コンドリナーゼ）
- ・腰痛などを引き起こす腰椎椎間板ヘルニアに対して椎間板の髄核内に直接注射し、痛みやしびれを軽減することができると期待されています。（適応年齢20歳～70歳まで）
- ・全身麻酔の必要は無く局所麻酔で注射します。注射後はしばらく安静にし、薬による副作用が無いか確認をします。
- ・当院では現在1泊2日の入院後、問題が無ければお帰りいただけます。
- ・ヘルニコア治療は医療保険適応ですが、1泊2日の入院となる為、自己負担額は高額（3割負担でおよそ60,000円）になります。一定の自己負担限度額を超えた部分が払い戻される高額療養費制度や、事前に申請すると一定の額までのお支払いとなる限度額適用認定証が利用できる場合がありますので、職員へご相談ください。
- ・適応になる椎間板ヘルニアの病態は限られていますので、受診の際は担当医師にご相談ください。





「ひまわりカフェ」オープン!



☆ひまわりカフェとは?

地域の方に気軽に立ち寄って交流していただく場として本年10月10日にオープンしました。皆さまに楽しんでいただける企画を計画しておりますので、お気軽にお立ち寄りください。

☆どなたでもご参加いただけます

☆場所：旧ひまわり保育園（建設会館南側角）

☆参加費：お茶代として100円をいただきます

☆持ち込み企画も大歓迎

「ひまわりカフェで囲碁がしたい」「おしゃべりがしたい」など、自由な発想で本施設をご活用ください。

☆イベントの予定表をひまわりカフェ入口に設置しています。ご自由にお持ちください。



12月の予定

12月5日(水) ふらっとカフェ 13:30~15:00

→コーヒーを飲みながらおしゃべりしませんか? ふらっと寄ってください。

12月18日(火) 認知症カフェ 13:30~15:00

→認知症予防の体操などを行います。

詳細については下記担当までお問い合わせください。前橋市地域包括支援センター西部（電話：027-255-3100）担当 山田



12月の食事会のお知らせ



『噛んで健康促進!』

～「噛む」ことの8大効果とは?～

● 日時：平成30年12月7日(金)

12:00～講演会

12:30～食事会

● 場所：新館6階 講堂

- ・五穀大豆ご飯
- ・小松菜のスープ
- ・こんにゃくと根菜の肉巻き
- ・切干大根の甘酢和え
- ・フルーツ

熱量 408kcal

蛋白質 26.9g

食物繊維 7.3g

塩分 2.2g

参加ご希望の方は病院受付にお申し込みください。
会費500円 定員65名です。

11月の食事会より

『秋の食材を楽しむ』

～きのこの血糖改善効果について～



- ・五目混ぜご飯
- ・きくらげのスープ
- ・さんまときのこの甘酢炒め
- ・ほうれん草の生姜和え
- ・フルーツ

熱量 408kcal

蛋白質 17.8g

食物繊維 6.8g

塩分 2.2g

担当 管理栄養士 三田

公益財団法人 老年病研究所附属病院

〒371-0847 群馬県前橋市大友町3-26-8 TEL 027-253-3311 (代表) FAX 027-252-7575 (代表)

E-mail: info@ronenbyo.or.jp ホームページアドレス <http://www.ronenbyo.or.jp/>

地域医療福祉連携室・相談室

TEL 027-253-4108 FAX 027-253-4135